

市政に経営感覚を！ 適正な評価・取組みを



国分寺政策市民フォーラム 丸山 哲平

●指定管理者制度について

丸山) 市民サービス向上と経費縮減を目的として本制度は実施されているが、制度導入による定量的(財政的・数値的)効果はどうか。

総務部長) コスト・付加価値等の定量的な評価は行っていない。

丸山) それはおかしい。それでは目的を達成したかどうかの判断が出来ないではないか。

総務部長) 今後の検討課題として参りたい。

丸山) 評価方法も管理部門がそのまま評価者になっておりお手盛り感がある。(現状全ての事業者が最高評価)。管理と評価は分けるべき。

●人事考課制度について

丸山) 現在の人事考課制度は上司からのみの評価だが、より公平性・客観性ある評価を行うためにも360度評価(同僚・部下からも評価)を採用すべきだと考えるがどうか。

総務部長) 人事考課見直し検討委員会の中でも意見があり今後運営にあたり研究したい。

丸山) 今や行政は嘱託・臨時職員を含め多様なメンバーで構成されている。360度評価を行うことで各職員の納得感も高まり、また自らが評価者となることで仕事に対する責任感も醸成される。是非とも検討課題として頂きたい。

●ふるさと納税について

丸山) ふるさと納税は市収入の柱の一つとして今後期待されているが、市外・市出身者へいかに周知・広報を行うべきと考えているのか。

政策部長) 市を転出される際に、ご案内を差し上げたり、成人式等においてPRを行う等の工夫・取組みを検討して参りたい。

丸山) それに加えご本人同意の上、イベント等の情報発信を適宜行う取組みも検討してはどうか。さらにご本人は市外でも市内にご家族がいらっしゃる場合も多い。ご家族を経由した取組みも促進すべきであると考えているがどうか。

政策部長) ご家族からどう伝達して頂けるか担当と共に仕組みの研究をして参りたい。

その他) 情報システム・行革全体、世帯所得に起因する学力格差について質問を行った。

放射能対策の拡充、 公民館の有料化問題



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

◆放射能対策の継続と拡充

原発事故によって、東日本を中心に放射性物質が拡散しました。同時に、あの事故から4年が過ぎ被曝の問題は「福島だけの課題」となりがちですが、セシウム137の半減期は30年にも及びます。子どもたちの健康を守るため、対策の継続と拡充を求める立場から質問しました。

星) 保育園・幼稚園・小中学校の市による給食食材の検査には、保護者のひとりとしても感謝している。食材を選ぶ基準はなにか→答弁) かつて出荷停止となったもの、摂取量が多いものなどを栄養士が選定している。

星) 市の測定器では米の検出限界値が、10~11ベクレル/kg程度。この限界値に対してセシウ

ムが「不検出」との結果。米は主食であり量をたくさん食べるものなので影響は大きい。より安全性を確認するために米の検出限界値を下げてほしい→答弁) 限界値を下げるには検査物の量と測定時間を増やせば可能だが、検査体制の問題で1日の食材数を減らすことになる。

星) 事故当時はいくつかの校庭で空間放射線量が基準値を超えたため、除染が行われた。その処理と現在の管理はどうなっているのか→答弁) 当該の施設内に埋設し、定期的に測定を行っている。高いところでも0.09μsv/時間程度であり基準値を超えるところはない。

◆公民館の有料化問題

現在、公民館使用料の有料化が検討されていますが、社会教育推進の観点から「市民の声を受け止め、時間をかけて納得できる制度にしてほしい」との利用者の声を市に伝えました。

星) 「消費税など様々な負担増のなかで、たとえわずかな額だとしても有料になれば大変」との意見を頂戴したが、これをどう受け止めるか→答弁) 公民館を含めた公共施設の使用料の見直しは、「検討の段階」という状態。

星) 公民館の「利用者懇談会」「サポート会議」で市民・利用者の声を聞き、決定に反映してもらいたい→答弁) 広く市民から意見を伺っていくべきと考える。

未来を見据えた 安全、安心の取組みを推進



自民党国分寺市議団 尾作 義明

●都市計画道路国3・4・1号線の廃止について
尾作) 国分寺街道から府中街道を繋ぐ計画の道路だが、国指定の史跡の上を通るため実現が不可能。周辺の道路整備計画の見直しのためにも、計画の廃止が必要である。如何か？

部長) 都においても計画の廃止を含める計画を検討。第4次事業計画の候補路線と考えている。

●国3・4・3号線(多喜窪通り)について

尾作) 東元町3~4丁目、西元町地域を囲む道路整備は東八道路、国3・4・11号線(国分寺街道)、府中街道と合わせて、多喜窪通りの整備が進まなければ地域の整備も進まない、防災や安全な車道、歩道の確保のためにも早急な整備が必要。都第4次整備計画の俎上に上げて欲しい。

部長) この整備により、通過交通の減少も見込まれ、安全性も高まる。認識している。

●野川整備について

尾作) まちづくり条例からも、野川の整備は重要。防災、親水性からも整備を進めて欲しい。

部長) 平成26年より市民向けの説明を行った。東京都の河川担当部署と野川整備促進の取組みについて検討を進めている。市のまちづくりとして具体的に進める必要がある。市民の理解、気運の醸成が得られるよう丁寧に進めたい。

●国分寺駅北口の防犯について

尾作) 国分寺駅北口交通広場は整備途中であり、防犯カメラの設置も予定がない。その中で交番の建設が止まっている。現状と今後は？

部長) 北口交番は27年度中に仮設置を進めていたが、止まっている。改めて警視庁が工事発注を行い来年の年明けに、開設の予定。設置まで近隣交番と警察車両で安全を図って行く。

●農地保全について

尾作) 一度、転用した農地を生産緑地に再指定を行い農地の保全を進めて欲しい。

部長) 農地減少をくい止め、意欲を繋ぐため、

生産緑地指定できるよう基準の改正を進めたい。

●史跡公園整備・追加指定について

尾作) 東山道武蔵道の史跡の追加指定を求める。部長) 重要性を鑑み、丁寧に整備を進める。

待機児解消の緊急対策として 小規模保育所を



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. 待機児童について

今年の待機児童数は88名(0才14、1才59、2才13、3才1、4才以上1名)で去年の77名より増えた。今年2園(246名)来年2園(256名)保育園をつくる計画だが、この500名の根拠は何か？去年80名つくったから420名ではないのか？→ニーズ量と整備の量の数字は計算式が複雑で引き算ではない。

いつまでも500名なのはおかしい。1才が多いのだから、今年度から認可になった「小規模保育所(0~2才、6~19人)に力を入れるべきだ」と思うがいかがか？→就学前まで一貫した保育が最善。定期的に見直すので議論していく。横浜市がやっている「保育コンシェルジュ」も検討してほしい。今現在困っている人がいるのだから緊急対策として今年中に新規の小規模保育所を誘致してほしい。

2. 中学校給食について

おかずの味について満足していない部分がある38.3%、満足していない34.8%をあわせて73.1%。去年の64.5%より増えているがどう考えるか？→前年度と比較すると悪い方向に進んだ。

メニューも改善され、喫食率も78.88%と高いのに数字が上がらないのは不思議だ。

3. 子どもの見守り放送の時間の変更について
12月議会で「現在の1時半から2時10分~45分の間に設定しなおす」と答弁したのになぜ2時になったのか？→確認したら1時55分に授業が終了する学校があった。資料は保護者に出した下校時間の目安だった。

はじめから正確な資料を出してほしい。不誠実だ。本会議の答弁を変更することがないように。

4. 市議会議員選挙について

投票率が48.02%だったが、投票率を上げるため西国分寺駅周辺に投票所、もしくは期日前投票所をつくってほしい(40万、100万必要)。

開票速報での票のばらつきはなぜおこるのか？→均等に流すようにしていたが、係数係が一人の候補の票を処理した後に次の候補を処理していたためにおこった。申し訳ありません。

議員選出監査委員は皆川議員に



皆川りうこ議員
(監査委員)

5月22日開催の第1回臨時会において、議員選出監査委員に皆川りうこ議員(国分寺政策市民フォーラム、6期目)を選任する議案が市長から提案され、全員賛成で同意しました。